

新第5次振興計画 重点プロジェクトの概要

新たな将来都市像「夢集い 人・緑輝く さくらんぼの都市(まち)」を実現するため、特に重点的に推進する施策を、課の枠を越え重点プロジェクトとして掲げて推進していきます。なお、重点プロジェクトの推進にあたっては、「市民主体のまちづくり」を志向し、市民とともに取り組んでいきます。

夢集い:寒河江の未来が明るく広がり、交流も進むまち

人・緑輝く:人が生き生きと暮らし、豊かな自然や美しい景観を大切にするまち

さくらんぼの都市(まち):「さくらんぼの寒河江」をアピールするとともに、さくらんぼのように、小さくてもきらりと輝き、たくさんの人から愛されるまち

(1) 寒河江の未来を担う子どもを育むプロジェクト(子育て推進課、学校教育課、生涯学習スポーツ振興課、建設管理課)

寒河江の未来を明るいものにするためには、寒河江の未来を担う子どもたちのすこやかな成長を育むことは、最も重要な課題のひとつです。寒河江市では、これまで以上に子どもたちがすこやかに成長できる環境を整備していきます。

親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談、援助の実施などを行う「さがえ子育て支援センター」を新たに整備します。

子育て家庭の経済的な負担を軽減するため、乳幼児の医療費無料化の対象を拡大します。

子育てと仕事の両立を支援するため、待機児童ゼロの保育体制を構築するほか学童クラブの設置を支援します。

子どもの学力向上や読書活動、食育の充実、生活リズムの確立等を目指し、学校・家庭・地域が連携した「さがえの子ども育みアクションプラン」を推進します。

子育て世代が市内に住宅建築する場合に、「子ども部屋」相当分を支援します。

市内の公園整備については、子育て環境に配慮した公園整備を推進します。

(2)「さくらんぼのまち」の魅力拡大プロジェクト(農林課、商工観光課)

市内外から愛されるまち(寒河江)を目指すには、他との差別化を図りながら、寒河江ならではの魅力を伝えていく必要があります。
さくらんぼは、寒河江の最大の魅力のひとつとして、これまで「日本一さくらんぼの里」として様々な取組みを進め、上質のさくらんぼの産地として高い評価を得てきましたが、産地間競争が激化しており、市民からもPRの強化を求める声が寄せられています。また、さくらんぼ以外の伝統野菜等や観光資源についても、多くの人に堪能してもらうことを目指し、その生産や情報発信に戦略的に取り組んでいく必要があります。

さくらんぼの長期生産体制を確立し、天候に左右されない高品質のさくらんぼを生産するため、無加温ハウスと低木Y字仕立てハウスの普及に取り組めます。

「さがえのさくらんぼ」がさらに広く市場に認知されるため、紅秀峰のトップセールスや広域体制による販売促進に取り組めます。

「さくらんぼの種吹きとばし」をはじめ、さくらんぼ関連のイベントを刷新(リニューアル)していきます。

子姫芋やもって菊、谷沢梅など寒河江の伝統野菜等のブランド化を推進します。

寒河江に来てこそ味わえ、堪能できる観光資源を、寒河江ブランドとして磨き上げる(魅力を上げる)とともに、情報発信を強化していきます。

特産品のキャラクター化等、農林、観光を核とした市全体の総合的なイメージアップに戦略的に取り組めます。

(3)寒河江の宝 慈恩寺の魅力向上プロジェクト(生涯学習スポーツ振興課、商工観光課、建設管理課)

慈恩寺は、慈恩宗の本山で、奈良時代の草創と伝えられる古刹であり、本堂や平安・鎌倉時代の仏像などが、国指定の重要文化財となっております。

一方で、観光者数は16万人前後の横ばいで推移しており、市民から観光資源としての態勢整備や美しい景観の保全の取組みを求める声も寄せられており、寒河江の宝として慈恩寺全体を国史跡の指定を目指すなど、その魅力を向上する取組みを進めていきます。

本山慈恩寺との連携を密にしながら、各種調査研究を進め、慈恩寺の国史跡指定を目指します。

慈恩寺シンポジウムの継続的な開催等、慈恩寺の学術上の高い価値について広く情報を発信していきます。

観光案内機能を併せた休憩施設の整備など慈恩寺の魅力を堪能できる態勢を充実します。

醍醐地区の住民とともに、慈恩寺地区の景観計画を策定し、歴史的、文化的景観の保全・形成に取り組んでいきます。

(4)長岡山の市民憩いの花咲か山化プロジェクト(建設管理課、商工観光課)

長岡山は、市街地中央にある寒河江のランドマークであり、その一帯が自然豊かな寒河江公園です。眺望がよく山形盆地や月山、蔵王、朝日連峰の山々を一望でき、東には東北一の規模のつつじ園、西には寒河江市郷土館や桜の丘、南には総鎮守寒河江八幡宮があります。数々の文学碑や運動広場、散策路が整備されており、四季を通じて楽しめる公園ですが、観光者数は減少傾向にあり、市民から長岡山を観光ルートの拠点となるよう魅力的な花見のできる山としての整備を求める声も寄せられており、市内外から愛される公園として取組みを進めていく必要があります。

市民の意見を十分に取り入れた、長岡山の総合的な整備計画を策定します。

観光バスも乗り入れることのできるアクセス道路や駐車場を整備します。

つつじ公園や桜を活かした花咲か山として、市民に愛される公園づくりを市民とともに進めていきます。

(5)安全・安心な市民生活推進プロジェクト(総務課、市民生活課、健康福祉課、総合政策課、建設管理課)

自然災害や犯罪、食の安全に関わる問題など、さまざまな分野において安全安心に対する関心が高まっています。市民から、実際の災害発生時に機能する実効性のある対策や一人暮らしの高齢者のサポート、高齢者の日常の交通手段の確保を求める声も寄せられており、行政と地域住民が連携し、地域全体で互いに支え合う、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進していくことが必要です。

自主防災組織の組織化を促進するとともに、地域ごとに防災訓練を実施し災害時の要援護者の救済への対応など実際の災害発生時に迅速な対応ができる体制を整備します。

高齢化の進展に伴い一人暮らしの高齢者が増加していることから、地域における見守り体制を構築します。

学校等避難所となっている公共施設の耐震化を早急を実施します。また、橋梁の長寿命化を推進するとともに、一般住宅の耐震化を促進します。

運転免許を返上する高齢者の増加が見込まれることから、車を持たない市民の日常の移動手段の確保を図るべく、デマンド型交通の導入に向けて取り組みます。

(6)雇用の確保・創出プロジェクト(総合政策課、商工観光課、建設管理課)

世界的な経済不況の影響や生産年齢人口の減少等により、寒河江市の市内総生産は伸び悩んでいます。西村山地域の有効求人倍率も過去数年1倍以下で推移しており、県内の他地域と比べても低水準になっています。市民からも、「雇用の確保」については満足度が低く、今後力を入れるべきとの声が寄せられており、積極的に取り組んでいく必要があります。

寒河江スマートICから寒河江中央工業団地を結ぶ市立病院前道路(都市計画道路山西米沢線)を整備拡張するなど、交通アクセスに優れた工業団地として魅力を高め、工業団地への企業誘致を戦略的に推進します。

企業間及び産学官の連携を推進することにより、新たな製品・技術の開発を促進し、地元企業の活性化を図ります。

インターンシップ事業等の充実による若者の就職及びその後の定着支援の推進や子どもを安心して産み育てられる職場環境づくりを促進します。

国の雇用対策事業も活用し、積極的な雇用創出に努めるとともに、地元企業に仕事が増えるよう、地元企業を支援していきます。

(7)寒河江の元気づくり(交流拡大)プロジェクト(総合政策課、商工観光課、生涯学習スポーツ振興課)

寒河江を活気と活力に満ちたまちとするためには、人やまちの交流を進めていく必要があります。市内外の人が楽しめるイベントの開催やスポーツの振興等を通して、市内の活性化、賑わいの創出や交流の拡大に取り組みます。

「ちえりーマルシェ」やジャズフェスティバル、名物寒河江ひっぱりうどんまつりなどイベントを開催し、駅前やまちなかの活性化を図ります。

ふるさと寒河江会等を活用するなど、仙台圏や首都圏への情報発信を強化し、交流人口の拡大を図ります。

地域に密着した商店街の核として、中心市街地活性化センターの機能の充実を図ります。

「冬季における屋外型スポーツ用施設」を整備し、市民が年間を通じてスポーツに親しめるまちを目指します。